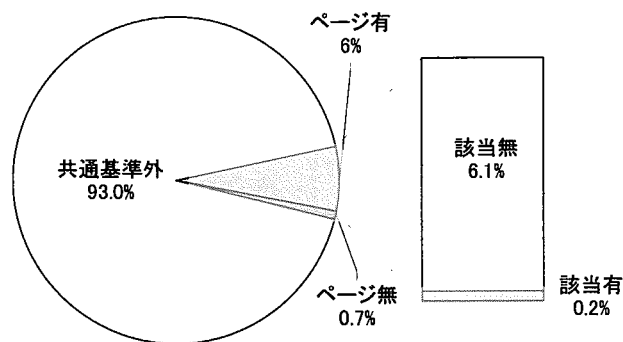


7 名誉毀損、脅迫、個人情報

名誉毀損・誹謗中傷・個人情報関連の2,853URLで確認作業を行った200URLのうち、違法・有害情報を含んでいると判断したURLは7URLであった。これは、今回のURLリストの1%以下にあたる。



共通基準外	ページ無	ページ有		全URL
		該当無	該当有	
2,653	20	173	7	2,853

掲示板有	リンク集有	販売・提供有
6	0	0

注文方法	URL数
Eメール	1
FAX	0

主もな情報内容	対象者	URL数
情報の流布	個人／女	1
情報の流布	法人又は、団体(グループ等)	1
誹謗中傷	法人又は、団体(グループ等)	2
誹謗中傷	不明	2
誹謗中傷	個人／男	1

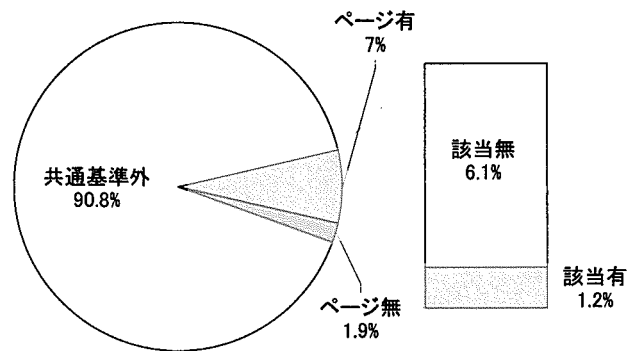
このカテゴリーの調査では、各種メディアなどでインターネット上において、そのようなことが行われていることは確認できるが、実際に名誉毀損や誹謗中傷等の情報がどのような形態で公開されているのかを探し出すのはとても難しい。

今回、確認対象と判断した7件は、誹謗中傷5件、情報の流布2件であった。さらに誹謗中傷の内訳では、法人もしくは団体が3件、個人・男1件、個人・女1件である。そして、4件が掲示板に書き込まれたものであり、そのうち1件は出会い系のサイトが運営しているものであった。

今回確認したURLの中を調べる限りでも、最近は、掲示板にその類の内容のものが書き込まれた際は、サイト管理者の判断の下、速やかに削除されているようであり、幾つかの掲示板では、「管理者の判断により削除されました。」といったような記述を確認している。よって、問題になるような情報が定常的にWeb上に掲載されていることは少なくなってきたと考えられる。しかし、この手の問題が解消されているわけではなく、管理者によって削除されるまでの時間に、口コミ等の手段によってURLが流布されてしまう恐れもあり、対策が不要というわけではない。

8 犯罪の誘発等に関するもの

犯罪誘発関連の2,183URLで確認作業を行った200URLのうち、違法・有害情報を含んでいると判断したURLは26URLであった。これは、今回のURLリストのおよそ1%にあたる。

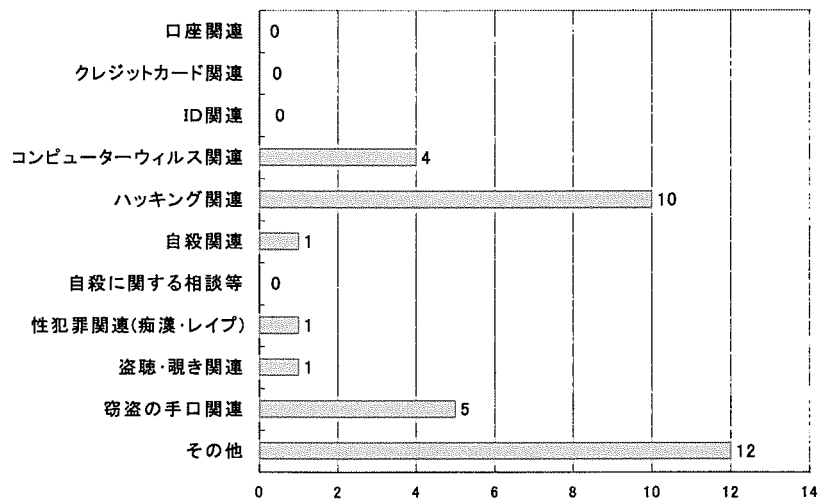


共通基準外	ページ無	ページ有		全URL
		該当無	該当有	
1,983	41	133	26	2,183

掲示板有	リンク集有	販売・提供有
2	16	6

注文方法	URL数
Eメール	5
その他	1

代金決済方法	販売価格	計
口座振込	1万円未満	4
口座振込	5千円未満	1



確認した結果として、コンピュータ関連 4 件、ハッキング 10 件、自殺関連 1 件、性犯罪 1 件、盗聴・覗き 1 件、窃盗の手口 5 件、その他 12 件である。

コンピュータ関連では、市販アプリケーションの不正使用（クラッキング）に関するもの（シリアル番号やdongle等本来それがなければ起動できないものをそれなしでも起動できるようにするもの）の紹介、コンピュータウィルスの紹介・作成方法・作成ツールの紹介などである。

クラッキングに関しては、Unixの管理者パスワードの不正取得方法、BackOrifice*の使い方などである。

自殺関連では、「自殺と殺人について考える空間」「正しい手首の切り方」等の記述が確認できたが、「正しい手首の切り方」についてはリンクが切れていたため、確認できなかった。

性犯罪では、「レイプ・不倫・オフィスラブ願望を持つ」といった表現でリストの販売をしているものが確認できた。

盗聴・覗きでは、「電話番号検索」があり、電話番号をフォームの中に記入するようになっているが、今回は、試してみてもCGIプログラムが稼動していないようで確認ができなかった。

窃盗関連では、自動販売機のただで買い物する方法等のようなもので、悪戯の手口であった。

その他の項目では、悪巧み・裏情報などのリンク集や情報の販売サイトなどである。

基本的にこのカテゴリでいえることは、やはりコンピュータ関連が多く検索に引っかかり、クラッキング等の情報は充実しているといえる。

BackOrifice*：有名なハッキングツールで、ネットワーク上の他人のWindows PCにアプリケーションを忍ばせ、自分のクライアントPCからPCの遠隔操作等のできるツール